

老夫婦二人と犬一匹

先日、2010年国勢調査の結果（速報値）が公表されました。

その結果は、5年前と比較して2.1%減の550万7千人余りとなり、予想されたこととはいえ北海道にとっては厳しい現実が突きつけられたといえるでしょう。特に深刻なのは、9割の市町村では人口が減る中、札幌一極集中がますますはっきりしてきたということでしょう。

このことは、教育環境にも大きな影響を与えることは必至であり、思い切った対策を講じる必要があります。

また、核家族化が一層進んでおり、1世帯当たりの人員が2.27人とのことです。我が家も、娘が独立して家を出てからというものの老妻との二人暮らしで国勢調査の結果そのままという感じです。

今では会話の種も尽きつつあるような日々ですが、6年前から太郎という名のトイプードルが一匹家族の一員になっていまして、老夫婦の間の良き潤滑油になってくれています。

統計の意味とは違いますが、我が家の家族構成もまた、2.27ということでしょうか。（塾頭 吉田 洋一）

